

ふな

2021年2月号

NO.503



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

《目 次》

「目 次」	1
「巻頭言」	2
【例会山行案内】	
・ 森山岳（2月14日）	4
【例会山行報告】	
・ 初日の出山行権現山（1月1日）	5
・ 新春山行武奈ヶ岳（1月10日）	7
【個人山行報告】	
・ 綿向山（1月17日）	11
・ 八甲田山（2019年8月）	12
【寄稿】	
・ 東南アジアを旅して	14
【定期総会案内】	16
2月予定表	17

＝ 表紙の写真 ＝ 綿向山
2021.1 撮影：F野氏

巻頭言

M 原

COVID-19(コロナウイルス感染症 2019 年型、日本では新型コロナ感染症と呼ばれている)の第一波に襲われた昨年の春、最初の緊急事態宣言が出た頃は、日本勤労者山岳連盟を含め、山岳関係 4 団体が「事態の収束まで山岳スポーツ行為を厳に自粛してほしい」と声明を出した。

「出先の人たちへの感染」の恐れ、そして「ひっ迫している医療機関に迷惑をかける」と懸念が語られた。

だから私も、万が一怪我をしたら立場上申し開きができないと思って自粛していた。

しかし COVID-19 が完全に収束することなく再び拡がり始めた頃、「Go to トラベル」キャンペーンが始まり、「国が奨励しているのなら、三密ではない山に行くのはいいかも」と都合の良い理由をつけて 11 月に立山へバックカントリースキーに出掛けた。

例年と違い、アルペンルートに中国人団体客はおらず、密にはならなかった。

山小屋も宿泊者数を制限したり、果ては館内のスリッパすらそれぞれ名前を書いて連泊中はずっと同じ物を履くようにする念の入れようであった。

ところが雪が不足していた昨年 11 月の立山は、スキー中級者には厳しかった。僅かな雪に隠れていた岩にスキーを取られ、まだ雪に埋もれていなかった大岩に激突して大腿骨を骨折してしまった。

山岳警備隊が駆け付けてくれた時にまずされたことはマスクの装着。そして立山に来るまでに発熱者に接触していなかったかの確認や、都会の流行地へ2週間以内に出掛けなかったかの確認であった。もちろん彼らもマスクをしていた。

富山県警のヘリコプターはあいにく別の事故に既に出動しており、その搬送が終わるまで1時間以上、雪上で寝たまま待つことになった。その間テキパキと私のザックからツェルトやダウンウェアを出して保温してくれた。いちばん心地よかったのは隊員がその場で給水バッグに熱湯を注いで作ってくれた「湯たんぽ」だった。

富山県在住者なら、その頃は富山県内の COVID-19 患者が少なかったこともあり、ヘリコプターは直接病院のヘリポートに搬送してくれるのだそうだが、県外者の私は COVID-19 感染の可能性があるとのことで、一旦富山空港に下ろされ、救急車に移し替えられて地上を搬送された。乗り換えの時、そして救急車が曲がったり減速したりするたびに激痛が走ったが我慢するしかなかった。富山市民病院に入院しても PCR 検

査が陰性とわかるまでは COVID-19 感染者扱い。休日は PCR 検査をしてくれないので連休の間はただ隔離させていただき。看護師さんたちもガウンテクニックをして出入りするから、申し訳なくて簡単には呼べない。まだあの頃は富山も滋賀も COVID-19 患者が少なかったからよかったと今にして思う。だから手術を終えたら、滋賀県立総合病院に転院することができた。

先日、滋賀県内の COVID-19 治療病床が逼迫し、お世話になった県立総合病院の回復期リハビリテーション病棟が閉鎖されて COVID-19 対応にあたると聞いた。

医療従事者にこれ以上負担をかけるわけにはいかない。

山でも街中でも、怪我も病気もしないように自分自身を戒めていこうと思う。

例会山行案内

森山岳（スノーシューハイク）

蓬莱山から森山岳に続く雪原をワカン・スノーシューで歩きます。森山岳の緩い傾斜では雪上の滑り台が楽しめます。

ご一緒しませんか。

（コース）

2月14日（日）

びわ湖アルプスゴンドラ山麓駅 8:30＝山頂駅 9:00～蓬莱山 10:00～森山岳 12:00
～蓬莱山 14:30～山頂駅 15:30（解散）

体力★★★★☆☆ 技術★★☆☆☆☆

（集合）1月30日（日） 8:30 びわ湖アルプスゴンドラ山麓駅券売り場付近集合
8:15 志賀駅発バスがあります
荒天中止（中止の場合、前日に連絡します）

（申込先） H島

（装備等）

ワカンあるいはスノーシュー・ストック・手袋・防寒具
その他登山装備

（料金）

ロープウェイ往復券 3,000円（平和堂ホップカード300円引きあり）
駐車場料金 1,000円（堅田駅等から乗り合わせ調整します）

（申込期日） 2月8日（月）

《例会山行報告》

初日の出山行

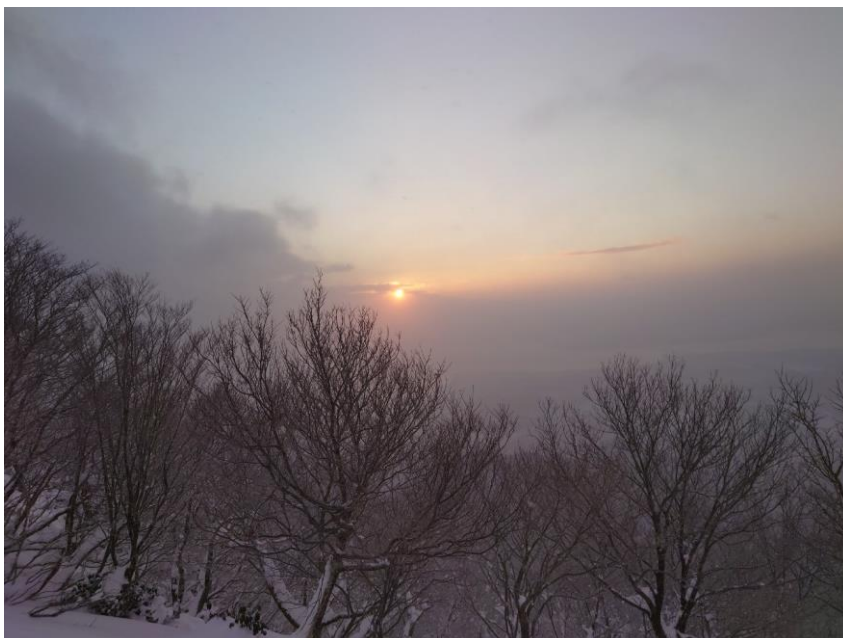
権現山

日 時 2021.1.1 (日) 曇りのち晴れ

参加者 CL H野・SL N尾・K嶋・S藤・F野・G阿弥・K原

コース 和邇河川敷4:00=霊山山口4:50→権現山7:30→霊山山口9:30

雪稜会の皆様、明けましておめでとうございます。今年も山歩きを楽しみましょう、よろしく願いいたします。



寒波による積雪で登山口まで行けない場合は撤退との条件で出発する。栗原を過ぎた辺りから路面にかなりの積雪があったが、無事に到着。登山口の積雪は20cm位

でアイゼン装着も一苦勞、空には月や星がはっきりと見え無風の中、4:50スタート。ところがズコノバン辺りから断続的の強風に見舞われ積雪は40cm位で気温は氷点下であった。日の出時間は7:05頃だが、その時には登頂出来ず、山頂直下でラッセル中であった。しかしそこから東に目を向けると黒い雲間からぼんやりとした初日の出が見え歓声が上がった。おそらく山頂でも同じ景色であったのでは。

山頂7：30ではガスって琵琶湖が見えない状況であった。そして先着の山友会の方々と交友する。下山時は一転晴れ無風で雪を楽しみながら恒例の初日の出山行を無事終了した。 (記 K原)

<一口感想>

昨年と大違いのかなりの積雪で時間がかかりましたが、山頂直前に雲間からの初日の出を見られて良かったです。でも山口弥生さんの連続参加が途切れたのが残念でしたね。 (N尾)

私にとって、今回で3回目の初日の出山行でした。天気予報とおりの大雪のなか、自分の力を過信して、欲張ってザックに沢山荷物を詰め込み、持ち上がれなくなりH野CLに多大なる負担をかけてしまいました。新年早々自分が情けなく、猛省した次第です。同行の皆さんにも本当に申し訳ありませんでした。そんな不屈き者にアイゼン装着時の歩き方など手ほどきをして頂いて、心から感謝しています。また、山友会の方からのお餅のお菓子と生姜湯の差し入れも温かくとても有り難かったです。 (S藤)

年末は、寒波による大雪の天気予報のため山行を実施するか迷いました。例年より雪は多く頂上直下はラッセルでしたが、何とか初日の出を見ることができました。今年は、コロナが収束し通常通りの山行ができることを願います。 (H野)



<例会山行報告>

新春山行 武奈ヶ岳

日 時:2021年1月10日(日) 曇りのち晴れ

参加者:1班 CL K嶋・S L H島・K井・S内・N井・F野・S井・S水

2班 CL N尾・S L N野・S藤・K藤・K原・F川・G阿弥

15名

行 程:和邇河川敷7:00=明王谷登山口8:00~衣服調整・休憩9:10

CL ~夏道・冬道分岐9:45~御殿山10:40休憩~ワサビ峠11:00 ~武奈ヶ岳山頂11:40写真撮影12:00 ~ワサビ峠手前にて 昼食12:20~12:50~御殿山13:00~夏道・冬道分岐13:20~休憩14:10~明王谷登山口15:00~駐車場にて解散

和邇河川敷に集合後、和邇駅を經由して葛川市民センター駐車場へ。直行のおふたりと合流し登山口へ。K嶋CLより行程の概要説明があり、新規入会されたK藤さんのさわやかな自己紹介の後、年末からの雪で凍結しているためスタートからアイゼンを装着し、2班に分かれて出発。

最初は凍結した土の道を登っていきましたが、徐々に雪道になってきました。アイゼンのギュッギュツとした音を楽しみながら夏道・冬道分岐へ。休憩、衣服調整。風が寒く感じたので、早々に脱いだアウターをまた着込んで出発しました。ワサビ峠を越えて、少し行ったところでN井氏に脚の痛みというアクシデント。K嶋CLが付き合い、1班はH島SLを先頭に山頂に向かうことになりました。二人は様子を見ながら、少し先へ進み、雪庇の先にちょうど寒さを防げる場所を見つけ、そこでN井氏はツェルトをかぶって待機・休憩することになりました。K嶋CLは安全を確認した後、2班最後尾に続きました。西南稜に差しかかるころには青空になり、雪と空とのコントラストがとてもきれい。一列に並んで歩く姿はやっぱりかっこいいなあ！ 武奈ヶ岳山頂では雪をかぶった周りの山々の美しさに感激！ 白銀の景色を堪能し、写真を撮った後は、風のないところで昼食をとるため、早々に下山開始。元気回復したN井氏と合流し、ワサビ峠の手前で昼食をとることにしました。お腹も満たされ、フワフワな雪の中を歩く。

軽アイゼンで踵から降りるとズズッと滑っておもしろい感触を楽しみました。御殿山への急登は雪がたくさんあったせいか、いつもより楽に登れたように思えました。御殿山で

しばし休憩。N井氏も皆さんからもらったカイロを脚にペタペタ張って元気百倍、いざ出発。みんな黙々と下山。グジュグジュした道にアイゼンを履いた足が踏ん張れず、私はちょっぴりお疲れ気味。最後のくだりは雪も少なくなり、アイゼンを外す方もおられました。

15時に全員無事、下山。駐車場まで移動し、あいさつの後、現地解散となりました。事前に三連休は寒波到来との予報が出ており、風も強いとの事だったのですが、お天気に恵まれて雪の中、新春山行という名前にふさわしく楽しい一日となりました。武奈ヶ岳、最高！！

初めての記録に、ドキドキ・・・でしたが、たくさんの一口感想をいただき、助けていただきました。美しい写真はK原氏撮影です。ありがとうございました。(S水)

<一口感想>

天候が、危ぶまれた山行でしたが、山頂近くまでくると、陽射しも温かく、風も思ったほどに強くはなく、登山日よりの1日となりました。雪稜会に入るまでは、雪の中を歩く経験もなかった自分が、こうしていっちょまえ(.!?)にアイゼンつけて歩いていることは、実は驚きです。これも皆さんのおかげだと、感謝の念にたえません。とても有難い新春山行でした。(S藤)

新会員としての初登山。秋の武奈もいいけど、冬の武奈は格別でした。途中の寒さは辛かったけど、頂上の360度のパノラマで全てが吹っ飛びました。(K藤)

今年最初の山行は天候にも恵まれ、一時コロナを忘れさせてくれそうな素晴らしい山行でした。忘年山行で登った武奈ヶ岳とまた違った白銀の武ヶ岳を見ることが出来ました。(N野)

初アイゼンでの雪山山行とても楽しかったです。片栗粉のようなむぎゅむぎゅという雪の踏んだ感触を堪能しました♪

アイゼンの下山はちょっと注意が必要なものも学習しました。(S井)

悪天候の心配が杞憂になり好天気で快適な山行となり良かったです。西南稜は雪が締まり皆が持参した輪カンを必要とせず少し残念 (N尾)

天気予報で、強風！と。山頂での寒さを思い、気の重い出発でしたが、天気は快晴！山頂でも、思ったほどの風速もなく、雪たっぷりの楽しい新春登山になりました。ただ、アイゼンの脱着時の判断を誤り、早すぎてまた最後の下りで転んでしまいました。土が見えてアイゼンがガチャガチャ言い出したので、思わず外してしまいました。最後まで付けて降りるべきでした。

(G 阿弥)

初めての雪山・アイゼン登山でしたが、前夜から雪山歩けるかな？
どんな様子かな？と想着ていましたが、楽しく歩けましたし、アイゼン効力を体感できました。次は、今回経験できなかったワカン歩行に挑戦！

(S 内)

入会して、7年超で初めてのリーダー！毎年恒例の『新春山行 武奈ヶ岳』での大役って事で、下見も実施して望みましたが、ホントは前々日位から天気が気になって、中止かなあって考えたり…。 ヤマテン、てんくら、登山天気等とにらめっこしてたけど結局、予報よりずっと良い天気！
至らぬ所も有ったと思いますが、無事に全員下山出来、楽しい例会となり、皆さんには感謝、感謝です。ありがとうございました。 (K 嶋)

雪山+アイゼン、きつかった！ 最初は右足、直ぐに左足大腿部が吊り、その場でへたりました。運動不足がたたりました。皆さんにもご迷惑おかけしました。懲りずに宜しくお願いします。 (N 井)





《個人山行報告》

綿向山

日 時:2021年1月17日(日)

参加者:K嶋 CL、K井 SL、S内、N井、S水、I藤(友人)、K藤(友人)

行 程:御幸橋駐車場 7:25～ヒミズ谷出合小屋 7:45～五合目小屋 9:00～

綿向山山頂 10:05(休憩)10:20～七合目(昼食)～五合目小屋 11:20～ヒミズ谷出合
小屋 12:20～御幸橋駐車場 12:40

7年前、比良雪稜会へ入会間も無いころに、例会で登った以来の綿向山へ今回はいつもの同級生とで登って来た。前日は雨が降っていたとの情報もあり、雪があるのか心配したけど、五合目の小屋辺りから雪が現れたのでアイゼンを装着。今回のメンバーは初アイゼンや2回目のアイゼン等々の雪山超初心者パーティーやったけど、特に心配することもなく無事に山頂まで登り、樹氷も見れて、何事もなく無事に下山で良かった、良かった！

(報告:K嶋)



<個人山行報告>

八甲田山 (1584m)

日 時 2019年8月14日(水)～15日(木)

参加者 I井 他女性2名男性1名

行程 14日 晴 大阪空港08:30 ✈ 10:00 青森空港 =青森駅 = 青森市文化観光交流施設ワ・ラッセ = 棟方志功記念館 = 三内丸山遺跡 = 15:30 寒水沢温泉(八甲田山ロープウェイ山麓駅)

15日 晴 八甲田山ロープウェイ山麓駅9:00 // (RW) // 山頂駅9:30 ~ 赤倉岳11:35 ~ 12:20 大岳ヒュッテ12:45 ~ 13:10 八甲田山大岳13:30 ~ 大岳ヒュッテ14:00 ~ 上毛無岱 ~ 下毛無岱 ~ 16:50 酸ヶ湯温泉

14日 早めに大阪空港に行くつもりで、京都駅始発の空港バスに乗るよう出掛けたが、満員で乗れず。6時発の2番バスで空港へ。空港もまた大混雑で、荷物預けに長時間を要し、飛行機に乗ったのは出発時間ぎりぎり。でも、それからもまだ乗ってきて、結局30分遅れで離陸。飛行機は順調に飛んだが、やはり予定より30分遅れで青森に到着。青森駅近くで昼食後、ねぶた祭の歴史や魅力を紹介しているワ・ラッセに行き、たっぷりねぶたを体感してから、棟方志功記念館へ。それほど大きな建物ではないが、棟方志功の作品がずらりと展示してあって、その中には高額なものもあった。そのあと、縄文遺跡として国の特別史跡になっている三内丸山遺跡へ。ここには掘立柱建物跡やその復元されたもの・竪穴住居跡・土壙墓などが広い敷地に点在しており、縄文の村を感じとることができた。見学は・観光はこのくらいにして、この日の宿泊地、八甲田山ロープウェイ山麓駅近くにある寒水沢温泉へ向かう。

15日 ホテルから歩いて10分弱の山麓駅よりロープウェイで山頂駅へ。好天に恵まれ気持ちよく歩ける。山頂駅の案内板によれば我々の歩くコースは4時間となっている。足弱の我々ではこんな時間では、とても歩けない。山頂駅からしばらくは散策路でなだらかな道。散策路を抜けるとこれから登って行く道が一望に見渡せ、徐々に登りとなっていく赤倉岳まで2時間かけて到着。続いて20分ほどかけて井戸岳(1550m)に。ここから少し下って大岳ヒュッテに着く。ここで昼食。ここから20～30分登れば山頂八甲田山大

岳だ。昼食後、大岳ヒュッテの裏をまわり山頂へ向かう。かなりきつい登り。山頂に着くと好天であるのに、霧が出て視界なし。しかし、わずかに 2〜3分霧が晴れて周囲を見ることができた。後続を待つて30分ほど山頂に留まり、再び大岳ヒュッテに戻り、休憩後、下山にかかる。ここからしばらく行くと、上毛無岱・下毛無岱という湿原地帯を通る。このあたりは、遮るものもなく、見晴らしよく、とても気持ちの良い歩きができた。17時前に下山地、酢ヶ湯温泉に到着。

(16日～18日、弘前・岩木山に行き帰滋)



【寄稿】

東南アジアを旅して

N野

昨年から新型コロナウイルス感染の影響で海外旅行も難しい状況になっています。会社勤めも終盤を迎えた定年前の2年間で東南アジアの国々を旅行しました。行った先はタイ、ベトナム、マレーシア、台湾の国々です。東南アジアに行こうと思った理由は、仕事でヨーロッパの国々やアメリカ・カナダには良く行っていました、日本から近くの東南アジアには殆ど行っていなかったからです。また、テレビの旅行番組や本から得られる情報よりも実際の自分の目で見た感じたりしたかったからです。

タイは仕事を兼ねた旅行でしたが、一番印象に残っているのは現地の大学の先生の車で案内してもらったアユタヤ遺跡です。アユタヤ王朝の都として1350年



から約400年間栄えました。

特に世界遺産にも登録されている

タイ アユタヤ遺跡

寺院の仏塔が林立する様は歴史を感じられました。また、歴史公園内では象に乗っての散策も行われており、タイらしさが感じられました。

ベトナム、マレーシア、台湾は一人旅です。飛行機とホテルだけを予約して、後は現地に行ってから旅行コースを決めました。ベトナムはホーチミン（旧サイゴン）に行きました。先ず驚いたのは、車よりもオートバイ（バイク）の多さです。道路いっぱいオートバイが走っており、二人三人乗りは普通で、中には5人も乗っているバイクもありました。私もバイクタクシーで市場での買い物やメコン川観光を行って、これから経済発展するのであろうベトナムの活力

を肌で感じる事が出来ました。



ベトナム ホーチミン市

マレーシアは首都のクアラルンプールとそこから高速バスでマラッカを尋ねました。マラッカはマラッカ海峡で有名な街で一度は行ってみたいと思っていたところです。マレー系と中国系文化が融和した街並みや食事にもその特徴が良く出ていて、街を歩いているだけでも郷愁を感じる飽きが来ない街でした。



マラッカ市街



台湾 九份の夜景

台湾は台北とそこからバスで行ける範囲の旅でしたが、特に印象に残ったのは夜市の賑わいと九份の夜景です。夜市では屋台に群がる台湾の人々のエネルギーを直に感じて、私も小籠包や餃子をお腹一杯食べて満足しました。今年もコロナ禍がまだまだ続くと思われるので、日本の国内旅行も難しくましては海外旅行など遠い先になると思われるのですが、コロナが収まれば東南アジアのまだ行っていないインドネシアやミャンマーに行きたいものです。

第 42 回比良雪稜会定期総会のご案内

第 42 回比良雪稜会定期総会を下記日程で開催させていただきます。 2 月上旬にお送りさせていただきます往復はがきで出欠のご返事をお願い致します。

定期総会の当日に於いて、忘年会で例年実施しておりました例会山行に関する表彰を行う予定にしております。

記

日時： 令和 3 年 2 月 21 日（日） 9:30～13:00（開場 9:00）

場所： 真野北公民館（真野北市民センター）3 階大会議室

住所： 大津市緑町 4-1 （TEL） 077-574-3211



（車利用）

国道 477 号線清風口を北方向に行き、清風町竹内歯科医院前の信号左折し、フレスコみどり店前が真野北公民館駐車場。JR 堅田駅前から約 8 分、JR 小野駅前から約 7 分。

（電車・バス利用）

湖西線小野駅から路線バス(江若交通)あり

西地区ローズタウン線のフレスコみどり店前下車 歩 1 分です

小野駅発 8 : 50 → フレスコみどり店前着 8 : 58

“ 9 : 05 → “ 9 : 13



2021年2月予定表

1	月		19	金	
2	火		20	土	
3	水		21	日	第42回比良雪稜会定期総会 第7回リーダー部会
4	木		22	月	ぶなJ 原稿締切
5	金		23	火	
6	土		24	水	
7	日		25	木	
8	月		26	金	
9	火	第11回運営委員会	27	土	
10	水		28	日	
11	木		編集後記		
12	金		コロナと寒さで、炬燵を温めている毎日。早く脱却 して、自然の中で思い切り手足を伸ばしたい！！		
13	土				I井
14	日	例会 打見山～森山岳			
15	月				
16	火				
17	水				
18	木				
3月の予定					
28	日	例会 藤原岳			



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>